2026/4/18

21 日本一の山城跡と城下町の祭りで知られる名山

高取山

たかとりやま
584m

日帰り

歩行時間＝3時間30分
歩行距離＝4・5km

技術度
体力度

コース定数＝14
標高差＝464m
累積標高差 ↗627m ↘627m

日本一の山城で知られた高取城は明治政府によって破壊されたが、城跡は今も残り、「高取山」の名で多くの人に親しまれている。山麓には西国三十三ヶ所のひとつ、壺阪寺や高取藩城下町として栄えた土佐街道の町家がある。

3月には家々の雛人形が玄関に飾られ、11月にはお城祭りが開かれ、昔ながらのにぎわいをみせる。

近鉄吉野線壺阪山駅で下車、国道169号を横断、突き当たりを右へ行く。しばらく進むと**高取広場（札の辻跡）**の十字路に出る。

→壺阪寺や葛城山を眺め、五百羅漢へ
↑朝霧が心地よい林道を壺阪寺へ向かう

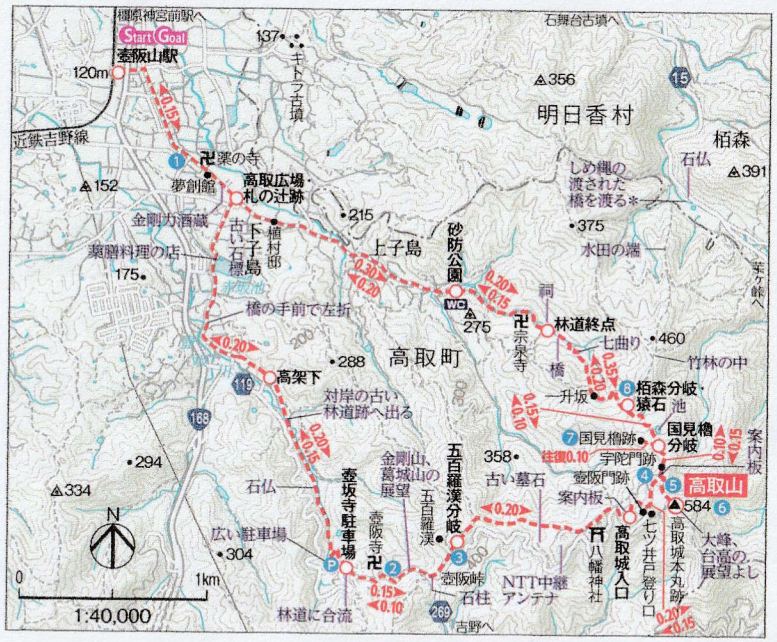
石柱道標を右折、赤坂池を左に見て、清水谷の町並みをすぎると壺坂川に出合う。その橋の手前で左折、川沿いの道を行き、**高架下**を通った先で、参道の標識を右へ行く。

人家の庭先を通って小橋を渡り、竹林から地道の林道に出る。右に地蔵尊を見て壺阪寺への標識にしたがえば、やがて道は沢を離れ、階段道となって**壺阪寺駐車場**に着く。壺阪寺に向かって、右の階段を登ると高取城跡への舗装林道に出合う。

左へ進めば**五百羅漢の分岐**が現れる。林道を離れて山道へ入り、五百羅漢をめぐって、尾根道を進む。NTT中継アンテナへの林道を横断して、八幡神社を右上に見送れば、**高取城跡入口**に着く。石積が残る坂を上がれば三の丸跡広場だ。続いて中門を通れば本丸跡広場・**高取山**の頂に着く。吉野・大峰山脈や台高の山々が望まれる。展望を存分に楽しもう。

山頂を辞したら上子島方面へ向かう。途中、国見櫓跡から土佐の町や金剛・葛城山を一望したら、もときた道へ戻り、**明日香・栢森への分岐・猿石**を右に見て、七曲り、一升坂の急坂を下って**林道終点**へ。

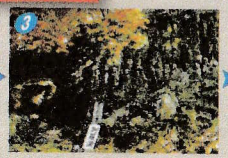
舗装林道となり、**砂防公園**から上子島の集落、家老屋敷跡を通って土佐街道に出る。あとは往路を逆に、**近鉄壺阪山駅**へ行けばよい。



CHECK POINT

1 左に高取広場がある十字路、札の辻跡を右折、古い家並みが続く土佐の町を通っていく

2 壺阪寺を左に見て林道を進むと右にインド渡来の大観音像を見送って五百羅漢分岐へ行く



3 五百羅漢の下に着いたら左へ山腹をからみ、羅漢像をめぐり登って稜線に出る

4 三の丸広場にはあずまやがあり、憩いの広場だ。石垣が両側に立つ中門を通って七ツ井戸分岐へ

5 イロハモミジの大木が頭上を覆う大門跡から本丸跡の山頂へ向かう

6 広い本丸跡（高取山山頂）からは、南に吉野、大峰、東に高見山を望み、絶好の展望広場になっている

7 北の宇陀門跡を出るとすぐに左へ踏跡が続き、国見櫓跡の展望台から高取の町を俯瞰できる

8 猿石が残る一升坂・七曲りと栢森への分岐からは、まっすぐつづら折りの坂道を下って上子島へ

■鉄道・バス
往路・復路＝近鉄吉野線壺坂駅を利用する。

■マイカー
大阪方面からは南阪奈道路を橿原で降りて、国道169号を高取町芦原トンネル手前の分岐を左折、壺坂寺駐車場（有料）へ。

■登山適期
通年歩かれている。ただし、積雪期は軽アイゼンが必携。サクラ、ミツバツツジは4月上旬、モモ、菜の花は5月上旬、紅葉は10月下旬～11月上旬。

■アドバイス
▽道迷いの恐れや危険箇所はない。道標が充実したハイキングコース。
▽3月の雛祭りや11月のお城祭りに合わせて計画するのもよい。
▽9月中旬の彼岸花の季節なら、猿石の分岐から栢森を経て、明日香の稲淵から飛鳥駅へ行くのもよい。

■問合せ先
高取町観光協会☎0744・52・1150

■2万5000分ノ1地形図
畝傍山